



志木中だより

4月号 平成31年4月8日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『夢の実現に向けて』

1 新たな第一歩を・・・

3月に咲き始めた桜の木々は、新緑の若葉をつけ始め、春を感じる今日の日を迎えました。

お子様の進級・入学を心よりお祝い申し上げます。

本年度は新入生196名を迎え、1年生5学級、2年生5学級、3年生4学級、かしわ学級の合計16学級、全校生徒541名でスタートします。

新年度も志木中学校の生徒たちがさらに磨きをかけ、一人一人が光り輝けるように教職員一同全力を尽くして参ります。生徒たちも新たな決意と夢を抱いて迎えられた平成31年度と思います。

年度当初の異動により教職員も入れ替わり、各学年とも新たな体制での出発となります。

どうぞ、よろしく願いいたします。

2 All our dreams can come true if we have the courage to pursue them 「追いつける勇気があるなら、全ての夢は必ず実現できる」

～ Walt Disney ～

ウォルト・ディズニーとは、言わずと知れたディズニーの創設者です。アメリカのエンターテイナーで実業家でもあります。大きな成功を収め、世界的に有名なウォルトでしたが、夢を叶えるために大きな失敗や挫折を味わいながら、あきらめずにアニメーターとして成功を収めることが出来ました。誰もが自分自身で描く夢を追いつめるためには、以下の5つのポイントが大切とされています。

①あきらめないこと。②夢を明確にすること。③計

画を立てること。④行動すること。⑤人を大切にすることで感謝の気持ちをもつこと。特に⑤の「人を大切に、感謝の気持ちをもつこと」は、とても大切なことだと思います。自分一人の力で何でもできると思っていたら、それは大間違いで、いろいろな人のお世話になって、様々な人の力や助けがあって、初めて夢が実現できるものだと思います。

3 夢の実現に向けて

何でもいい・・・何かに拘り努力することが、まずは肝心。そして自分自身が描く夢や憧れを持つことは、とても大切なことだと思います。なぜなら中学生には、今は未だみえない限りない可能性に満ち溢れている子供たちだと思います。また本校では学校行事をはじめ、学習、生活、部活動等々、様々なことに懸命に取り組む姿が随所にみられ、生徒の直向きな努力や絆が感じられる学校だと思っています。何ごとにも努力をすることに感動が生れ、その大切な心を育てていきたいと思っています。さらに生徒一人一人が大きな夢を抱き、その実現に向けて輝いてこそ、充実した中学校生活が過ごせるものと思っています。子供たち一人一人の夢が実現できるように、今後もより一層、保護者の皆様をはじめ、地域の方との連携を図っていききたいと思います。

「憧れを持ちすぎて自分の可能性をつぶしてしまう人はたくさんいます。自分の持っている能力を生かすことが出来れば可能性は広がると思います。」

[イチロー]



志木中だより

5月号 令和元年5月7日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『志木中学校ブランド』

1 自身が抱く志向とは・・・

この5月1日から元号が改まり、平成から令和へと新しい時代に移り変わるにより、思いも新たに、志木中学校が増々地域から信頼され、子供たち一人一人が光り輝けるように、教職員一同、努力を惜しまず「志木中学校Brand」と言われるような学校にしていきたいと考えますので、今後ともご理解、ご協力ほど、よろしく願いいたします。

さて、入学、進級してから既に一か月が経ちましたが、各学年の様子は、それぞれの学年の自覚とこの一年頑張ろうという決意を感じさせています。3年生は3年生らしく引き締めつつ、2年生は先輩になった誇りを持ち、1年生は新たな決意をもって臨んでいる様子が伺えます。

ところで新しい時代へと移り変わりしたと言えども4月からの一か月を振り返って何か気持ちの変化を感じたでしょうか。時代は移り変わっても、自分自身が抱いている将来の夢や想い、そして志向は変わらないものではないでしょうか。

自分自身を見つめ直した時、「本物志向」「偽物志向」と分けるとすれば、一体自分は、どんな志向を持っているのでしょうか。物に

込めば使い込むほど味がでできますし長持ちもしますが、偽物は消費者の手に渡ったとたんに古くなってしまい長く使うことが難しくなってしまいます。このことを学校生活の中にある自分自身に置き換えて考えてみると、本物の志木中生、本物の上級生としての自覚と責任をしっかりと持って、是非、有意義な学校生活を送ってもらいたいと思います。

2 Brandの持つ力とは・・・

生徒たちがこれまで築いてきた信用と信頼には大きなものがあります。それは卒業生をはじめ、在校一人一人が様々な場面で活躍している、または頑張っているという話をたびたび耳にする時、さらには近隣、保護者などから生徒のよい評判を聞いた時など、志木中学校のブランド力が大いに高まっていること痛感します。学校のブランドとは、信用と信頼の上に脈々とつながっていくものと考えています。「私、実は志木中の卒業生なのです」「志木中の生徒が活躍してますね・・・」など、新しい時代の移り変わりと共に、これからは胸を張って「志木中学校です」と言って頂けるような学校の持つBrand力を一層高めていきたいと思っています。



志木中だより

6月号 令和元年6月3日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『 環境は人をつくる 』

1. 環境を変えることで人は成長する

(為末大：スポーツコーディネーター)

もしそれなりに野心がある人であるならば、まずどのような環境で競いたいかを選ぶのが重要だろうと思う。環境を間違えると同じ努力をしても登れる高さがずいぶん違う。人間は環境の中で競争をする。だからどのような環境で生きているかによって自分の人生の幾分かは決まる。昔は村で一番になれば一番だった。それ以上はないし、それで十分だったと思う。今は村の外には町があり、国があり世界がある。上には上がいるから、行こうと思えばどこまででもいけるが、難易度はそれだけ上がる。私が18歳の時、世界大会に出てトップと競争したことだ。当時は短距離だったので、一緒にレースをしながら、これはただ速く走るだけだったら20年程度の競技人生では追いつかないと直感的に悟った。(中略) 人間は有能で、本気になれば2、3年で新しい環境に慣れる。そしてそれは成長の鈍化を意味する。努力をしようと頑張るより、新しい環境に必死で適応している時の方が人間は伸びる。素振りだけでいける世界には限界がある。野心のあるものにとって人生は山登りである。山登りにはいろんな手法があり、より自分の好む手法で登るのもいいが、高みに到達したければまずはもっとも高くまで行けそうな手段を使い、高みに登りそこからどう展開できるのかを考えるのもいい。不思議なもので人間は、今考えていることを、場所を変えても同じように考え

るかというとは実はそんなことはない。人間の最大の能力は、可塑性であり、適応能力だ。

2 子どもが伸びようとする時・・・

(フランク A クラーク 作家・アメリカ)

子どもたちが伸びようとする時、私たち大人は、真綿で包むような接し方をしてはならないし、転ばぬ先の杖であってはならないと考えます。しかし、日々の中で起こるストレス、例えば友達同士の言い争いや教員や保護者の方からの叱責などは、勇気をもって見守ることも必要だと感じることがあります。しかしその場合、介入するタイミングさえ間違わなければ大丈夫だと考えます。人は「嫌い」な者に話しかけたり、注意したりはしないものです。「嫌い」の反対は、「好き」ではなく「無関心」だとも言われます。言い争いになったり、叱責されたりするのは、その人に「関心」があるからだと思います。そのことを知った上で、そう対応するか。ぶつかり合う相手こそが自分を映し出す鏡、自分を改善するヒントを与えてくれる鏡であるとも言えるのではないのでしょうか。「人は自分に賛同してくれる人といると快適だが、自分に賛同しない人といると成長する」

3. 保護者の皆様へ

この6月より、志木中学校での生活が、より明るく安全に楽しく過ごせるようにと、スクール・サポーターを2名配置します。

どうぞ、よろしく願いいたします。



志木中だより

7月号 令和元年7月1日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
 TEL 048(471)0143 FAX 048(474)6592
 URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『心に映し出されるもの』

1 自分の心に映るもの

5月下旬の第2学年宿泊学習(野辺山自然学習)を皮切りに、第3学年は6月2日～4日に掛けて修学旅行、併せて6月4日には第1学年



校外学習(鎌倉方面)が計画され、大きな事故等も無く予定通り終了することが出来ました。一学期の大きな学年行事を経験することで、生徒一人一人が



ひと回り大きく成長することが出来た成果のある行事を過ごすことが出来ました。中でも生徒たちと共に修学旅行を過ごし

思うことは、古都を訪ね、歴史に触れることにより、素直に、そこで暮らした人々の喜び・怒り・哀しみ・楽しさやたくましさ、そして、栄枯盛衰の厳しさなどに思いを馳せることが出来ました。実際、神社仏閣の素晴らしさには十二分に惹かれますが、例えば、大仏の大きさに圧倒されるとき、その大きさゆえに建立の使役に駆り出された庶民の労苦にも考えが及びます。普段なかなか機会のない自分の生活を根本的にふりかえる



気持ちになれるのではないのでしょうか。各学年の生徒たち一人一人が、校外学習、宿泊学習、そして修学旅行という「学びの場」を通して、しっかりと「学びの意識」を持って取組み、そして、課題解決の道を探そうと一致協力する姿が見られ、思い思い

に自分を振り返ることができた、とても素晴らしく成果のある学年行事だったと思います。

2 感動の姿

6月16日～18日に掛けて、朝霞地区学校総合体育大会が開催されました。大会期間中、生徒たちの健闘している様子をたくさん観ることができ、懸命に声を出し、全力を尽くす姿に多くの感動を覚えました。

過日、壮行会の折に全国大会常連校のコーチのお話しをしました。それは・・・。

「同じように練習していればうまい選手を試合に出す。しかし、試合に出た選手が偉いわけではない。それで人間の価値が決まるわけではない」選手として選ばれた人も選ばれなかった人も同じ立場です。選ばれた人だけが戦ったのではなく、練習を共にしてきた人みんなが戦ったのです。試合に出られなかった人へ伝えたい。ともに練習をし、戦ったことを誇りに思っ

(中略)

てほしい。また、試合に出た人へ伝えたい。出られなかった人がいたから今の自分があることを忘れないでほしい。共に伸びてきたから今の結果があります。一人だけが成長したわけではなく、みんなが成長してきたからこそ、強い部活になるのだと思います・・・。

3年生にとっては、中学生生活の最後の大会であり、負けることは部活動のある意味引退することを示唆します。苦しい試合に勝って、歓声をあげ喜び合う姿、残念ながら全力を尽くしても負けてしまい、悔しさに涙した時、これまで懸命に取り組んできた2年数カ月の思いが浮かんだことと思います。